

雲龍

さんに

色々

して

欲しい

いい

R-18



え……え……と

ありのままに
今起っている
ことを話す……

仕事中ウツカリ
寝てしまったと思ったら
雲龍さんに膝枕を
してもらっていた

何を言っているのか
分からないけど

とりあえずオツパイが
気持ちいいです——！

さつき雲龍さん
時雨さんの作った
夜食を取りに……
それで一人でしたら
寝ちゃって……



それと雲龍さんって
露出高いから……



でも、意外だな…
雲龍さんってつかみどころ
ないっていうか

こういうことしてくれる
人っほくないって思ったけど



「逆を向いたら…」

パンツが見えるんじゃないや…



いやいやっ！何を
考えているんだ僕はっ！

そんなことをしたら
軽蔑されちゃうっ！

でも…ほんの少し
寝返りを打つフリ
をすれば…

うっぷー！



なんでスポンをおろしているの?!

って!?!
雲龍さんっ?!

う：雲龍さんがほくのおちんちんをシゴいてえっ?なんで?

こうなると精液を出さないと静まらないと聞きましたから

このままでは仕事にならないでしょうし鎖めてあげます。

雲龍さんってそういうキャラ?

ひあっ!



提督の声可愛い…
ちよっと楽しいかも

ふわっ！
はあああっ！

あ…あのっ！
雲龍さんっ
そ…それならっ



指っ！雲龍さんの
指がっ！！

よ…よく
分かんないけど



それならっ！

あっ！
なぞられたらっ！



胸？なんで？

その方が興奮するし
射撃しやすいかなって…



やっぱダメ
ですよえっ！



お…おっぱいを
触らせてくれませんか？



これでいいのかしらっ...
ていどく...

!?

あはは

ははは



う：雲龍さんのおっぱいっ！
夢にまで見たおっぱいに触ってるうっ！

ほ：ホントにいいの？

まあ...減るものでもないですし提督が
いいのなら...

あ

ははは

あ

あ

あ

あ

あ



あっ！
雲龍さんっ！

異例の若さで
提督になった優秀な
人って聞いていたけど

おっぱいも
手コキも気持ちいいっ！

まだ乳が恋しい
歳ごろなのかしら？

乳首も
コリコリ…
おいしい！

そんなに吸っても
ミルクは出ないわよ？



でも、オっぱいは
雲龍さんの味がして
ボク好きです

私の味って…

とっても甘い
ずっと吸っていたい
そんな感じの味…

あ…すごい…
さっきより膨らんで…

ホントに
イイのね…



こうかしら?

しゅん

あつ!
そ・そうっ!
すこい
イイツ!



あつ!雲龍さんっ
それいいっ!

もっと早く
しこいでくださいいっ!



うん、このまま
おっぱい吸いながら
出しますっ



ダ:ダメツもう
出そうですっ!

そう:いいですよ
遠慮せずに
そのまま出して
ください提督:



出るっ
出るうっ!



雲龍さんっ！
雲龍さんああんっ！

ポポポ
ポポポ

ポポ

ポポ

もっとオチンチン
しりしりしてええ

まさかお風呂でまで
おねだりされるなんて…

ポポ
ポポ

ああ…雲龍さんに
こうしてもらうの
すごく幸せえ

やだっ！
ちよっ…

胸の谷間を
舐めないでっ！

だって、雲龍さんの身体
甘くてとろても
おいしいんだもん…

辞められないよ…



うんっ！
雲龍さんの
おっぱい大好き



そんなに胸部装甲に
興味があるの？



さっきでしたばかり
なのにもう
こんな元気……

それは雲龍さんが
悪いんだよ？

わ…私が？

エロ…い？

そうだよ
こんなおっぱい
があったら僕
抑えきれないよっ！

そんなエロい身体
で僕にやさしくして
くれるからっ！

そう…
わかったわ





また出そう？
ずっとしてあげるから

はううっ！
そ・そ・うっ！



んっしょっ！
提督のおちんちん

う：
雲龍さん！
あのっ！

とっても熱いし
ビクビクって振動が
おっぱいに伝わってる



れろおー

いっぱい出して
スッキリして...



だ・だめですっ！
雲龍さん離してっ！

てほう……
いいふあ……
遠慮せふだひてっ

このまま
出ちゃうっ！

唾えながら
しゃべっちゃあああっ！



あっ!!

ポポ...

臭いも...味?
も濃いわね...

おふふ

執務室で出した後
なのにまだこんな...

おふふ

雲龍さんが
僕の精液を...

あ...またっ!!

まだスツキリ
しないの?

ごめんなさいっ!

そう...

ほらっ
お尻向けて

わあっ!!

ちよ...えっ!!
ええっ!!

おふふ

カクカク

あつ！
そんなとこ
汚いよつ！

ウンチの穴に
雲龍さんの舌がっ！

ふあああつ！
あああつ！

声が女の子みたい
気持ちいいのね？

れろろろ

いいから……
いっばい気持ちよへ
なつて？

提督のおちんちんも
ピクンってなつてる
可愛い♡

んはああつ！

ほあむ♡

お尻と同時に

おちんちん
シッコシッコや
だめええええ！

カクカク！

カク

カク

カク

ここに溜まっている
モノ全部しほりだして
あげるから……

してほしいところ
あったら言って？

同時が
気持ちいいのね？

んほあつ！
玉舐めと同時
シコシコオっ！

同時責め
気持ちいいっ！

ひいいいっ
さっきイッたばかり
なのにまたっあつ！あつ！
ああああああつっ！

あ…あのっ！
雲龍さん

これはさすがに
恥ずかしいよ！

そう？
でもおちんちん
ビクンってなってる

ほら…
もっと気持ち
よくなってー

穴ペロペロ
だめえっ！

で…でもこれっ！
気持ちいいっ！

気持ちいいよ
雲龍さんっ！



お尻の穴に
雲龍さんの
舌がつっ!

あっ!

アッ!



お尻の穴に
舌がつっ!

わけがわかん
ないよおおおっ!



あっ!

タマタマを
そんな優しく
撫でないでええ



お尻の穴も
吸っちゃダメえ!

ルルル



このままじゃ
自分の顔に
かかっちゃうっ！

もうだめっ！
また出るっ

雲龍さんお願い
もう出るっ！
口でっ！またお口で

うわわわっ
お尻に指いっっっ！



さっ…
出して

これでいいん
でしょ？

お尻ホジホジ
おちんちんに響くっ！

しゃほ

しゃほ

もう我慢出来ない
お口に出すよっ！

いいわよっ
我慢せずだしてっ！

しゃほ

しゃほ

ていとくの精液
またお口で
受け止めてあげるっ！

しゃほ

雲龍さんっ
雲龍さあああんっ！

んっぶうううっ

しゃほ

しゃほ

もういい加減
スッキリした？

今更なんだけど
雲龍さんなんで…
その…こんな…

僕のためなんか
こんなことを？
あんまりこういうの
好きではなさそうだし

痛てててっ！

なんで耳を
つねるのっ!!

おん

おん

チヤリン

チヤリン

は…は…

……



—その後、廻廊下へ—







あとがき

こんにちは！藤匡です。
雲龍さんにしてもらいたいと
妄想していたことをずっと前から
描きたかったのですが
これを描き始めた途端に
フルカラー漫画のお仕事が入ったり
終わっても勤め先の会社で残業
休日出勤と多忙を極め
プロットから完成まで
かなりの時間を要しました(；・ω・)
こういう時はホント
宝くじでも当たって同人活動だけ
やっていれる状況になりたいって
思っちゃいますね……

さておき……
マイブームは「おねショタ」！！
キレイなお姉さんにこんな風に
甘えてみたかったー！！
そんな感じで今後もこれをテーマに
描いていきたいですね！
また雲龍さんが別の艦娘か
はたまた別の何かか……
それでは(；ω)ノ

藤匡

Twitter: Taka_hirusagari

サイト: 昼下がりの美術館

www.geocities.jp/iris_media_systems